

今月の問題

- 1 恐ろしい交通事故。昨年の交通事故による死者数は、何人だったでしょう。
A 5人 B 7人 C 10人
2 4月1日から白根市に新しい国道が誕生しました。巻町と新発田市を結ぶこの国道は何号?
A 28号 B 163号 C 460号
3 いよいよ市民と市長との対話集会が始まります。夢いっぱい未来を描く白根のまちづくりを語り合う、この対話集会の名称は?
A 談・談・トーク B ルンルン・トーク C レッツ・ゴー・トーク

応募の方法

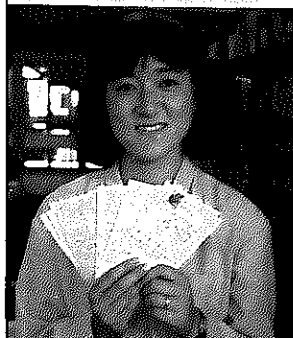
はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。
6月17日(木)必着
6月18日(金)に市役所に来られた人に抽選していただきます
7月1日号

当選おめでとう

- [500円の図書券] ▶山口雄樹(和泉) ▶早藤恵子(白井) ▶遠藤 徹(上下諏訪木) ▶志田尚三(大通2) ▶平野すずむ(南新町)
[県立自然科学館招待券] ▶西村聡美(鍋湯) ▶野口真波(西酒屋) ▶木村由香(田中)

応募はがきから

○図書券で「超常識的恋愛論」(小柳ルミ子)を購入。著者が芸能人...と思うでしょうが、画面であれだけ仲の良い夫婦を見るとつい。女は優しくて、しっかりしていて、でも弱いところもあって、かわいくて、でもセクシーで、上品で、ときにはみだらで、頭が良く、でもバカにもなれて...。なかなか妻として参考になる本でした。(Y.S)



抽選は5月19日に、市役所で藤岡典子さん(水道町)にお願いしました。先月号の正解はB●A●B。応募総数は30通で、すべて全問正解でした。

子供の虫歯は一時期よりもかなり減少しました。虫歯の予防法がお母さんたちに深く浸透してきたためです。それでも3歳児の6割は虫歯があります。
保健センター(☎373-4300)

乳幼児からの虫歯予防

保健センター(☎373-4300)

広がれ、健康家族 24

乳歯の虫歯にはこんな弊害がある

1 永久歯の歯ならびを悪くする



2 弱い歯質の永久歯になる



3 発音がうまくできなくなる



主張するようになり、お菓子がたっぷりジュースを欲しがったり、けれども、だらだら与えるお菓子やジュースは虫歯の大きな原因になります。子供の砂糖の摂取量は一日25gくらい。ジュース一缶分に当たります。おやつは時間と量を決めて与えましょう。
保健センターでは0歳児の虫歯予防教室(10~11カ月児を対象)を行っています。内容は、歯磨き指導、歯科医師による検診と個別相談、フッ素塗布(希望者のみ)です。また虫歯のある子にはサホライド(虫歯進行止め)塗布も行います。
フッ素は歯のエナメル質を固くして虫歯にかかりにくくします。半年くらいの間隔で塗り直せばその効果を維持できます。教室で塗布した人にはフッ素塗布助成券を発行します。ぜひご参加ください。

風収集委員会報告

ウエイハン 濰坊国際風揚げ大会と中国の風収集

4月18日から24日まで、風収集委員の田村和雄さん、巻口厚志さん、遠藤裕巳さんの3人が中国を訪問しました。これはウエイハンで行われた国際風揚げ大会に参加し、6年夏にオープン予定の



風製作の共同作業所

収集と交流を目的に中国へ。昨年四月から白根市では「しろね大風と歴史の館」に飾る風の収集作業を開始しています。中国は世界の風の発祥地ともいわれ、その現地の様子も知りたく、また大会に集まる世界の仲間たちとの交流も、今後の風収集のために必要と、この機会に中国へ行くことになりました。
北京から南へ直線約四百キロ。山東省濰坊(ウエイハン)市で、第十回国際風揚げ大会が約二十万国、三百人の風仲間を集めて行われました。ウエイハンは都市部で人口四十万人、周辺集落を入れると百万人の、工業都市です。この郊外の農村部に、伝統的な風作りがあります。ムカデ風、ワシ、ツバメなどの鳥風、仙人や天女・昆虫などの風など、竹と絹を使った立体的なもので、風の性能はもちろん、芸術的なウエイハンの風。
私たちが急いで風を組む作業を始めました。加藤清正や役者の武者絵に早速、外人がスバラシイと寄ってきます。三登大の加藤清正を、人込みを避けながら揚げ、ちょうど良い風に乗って会場中央に揚がってくれました。人込みが少し引けた昼食ごろ、田村さんが六登大の役者を地元の青年たちと一緒に十数人で、手まね足まねで、和やかに楽しんで揚げていました。巻口さんは会場内で風を譲ってもらったための交渉。私も吉林省のグループに身振りや筆談で交渉し、



「しろね大風と歴史の館」に展示する風の収集のため。その訪問記を紹介します。
なお、来月からは風収集委員会が収集した風の数を広報紙上で紹介します。ご期待ください。

収集と交流を目的に中国へ。昨年四月から白根市では「しろね大風と歴史の館」に飾る風の収集作業を開始しています。中国は世界の風の発祥地ともいわれ、その現地の様子も知りたく、また大会に集まる世界の仲間たちとの交流も、今後の風収集のために必要と、この機会に中国へ行くことになりました。

ついに実物の羽毛の付いたワシ風を譲ってもらいました。
猛烈な嵐にびっくりに。午後、会場は地元を代表する風の竜頭百足風(ムカデ風)のコンテスト。その途中から空が暗くなり、人々が右に左に走りはじめました。私たちも青年たちに雨が来ることを教えられ、風を片付けはじめたそのうちに、あつという間に猛烈な突風と砂ぼこりに巻き込まれました。ヘッドライトを頼りにバスに駆け込みましたが、気が付くとせっかく買った風がありません。しばらくして、ほかのグループが戻りましたが、彼らが片付けてくれた荷物の中にその風を見つけて感謝感激でした。嵐は一時間ほどで去り、青空が出て少し涼しくなりました。その日の夕刻、競技場で表彰式がありました。私たちが残念ながら参加賞でしたが、多少なりとも中国の青年たちと交流できて満足でした。
良い風を求めてテンシンへ。もう一つの目的の風の購入は、到着以来、茂出木日本の風の会長の人脈を頼りにウエイハンや北京を捜し回りました。しかし、思うものが少なく、さらに北京から百五十キロ離れたテンシンまで出向き、ようやく約八十点の優れた風を集めることができました。また、若い女性たちが作業する風筆工芸公司(共同

作業所)や、土産物商社の一室で専門に作っている青年風師など、器用でまじめな中国人を見ることができました。
大陸を感じさせる北京の気候。北京周辺はキリやフジの花の真つ盛り。黄砂のためか地平線方向はどんよりと見え、午後になると、いつとき決まって風が強くなり、雨が来たりしました。特に風揚げ大会会場ではあの猛烈な嵐。気が付いたら三万人ほどの見物人たちは、きれいにいなくなっていました。この変化を知っているから、既に逃げてしまったのでしよう。私たちはその嵐の中で風の始末に追われるということになりました。しかし、まさに大陸なのだと思わせる厳しさに、素晴らしい体験をしたと思っています。
市内観光はホテルの窓から。ホテルでは買った風の荷造りに追われ、目と鼻の先の天安門も見られず、ホテルの窓からの市内観光でした。「あれを買ってくればよかったかな」「あれは欲しかったが高くて駄目だった」など、いろいろ話しながら、今度はゆっくり見物に来たいと願って機上の人となりました。買い求めた風は今、市役所の一室で組み立てられ、一つひとつ整理され、展示される日待っています。(遠藤裕巳・記)

市立図書館

今月の受け入れ図書

開館時間 ※第2・4月曜、祝日は休館
月・水・木・土・日曜日
午前9時~午後5時
火・金曜日 午前9時~午後8時
貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

- ▽アンダースタディ(赤川次郎)
▽17歳のランナー(草薙渉)
▽新選組斬人剣 小説・土方歳三(早乙女貢)
▽折々の事件(佐野洋)
▽陽のあたらない坂道(清水義範)
▽クオーターマン(玉岡かおる)
▽ゼロと呼ばれた男(鳴海章)
▽人斬り新兵衛(西村望)
▽決着(結城昌治)
▽あ

今月の一冊



茜色の戦記 津村節子

第二次大戦中の東京。その戦火の中においても輝いていた女学生たちの友情や恋。戦後四十八年。埋もれつつある過去を大勢の人たちに取材し、登場人物に集約させた鎮魂の長編。